



* 学校便り作成にあたり、生徒の文章や写真を使用する場合があります。浅野川中学校個人情報取扱規程を遵守しておりますが、お気付きの点がありましたら学校までご連絡ください。

坂口博士に続いて、北川進博士がノーベル化学賞を受賞！ ～子どもたちへのメッセージ、幸運は、準備された心にのみ宿る～

先日、お伝えしたノーベル生理学・医学賞を受賞した坂口志文博士に続いて、北川^{きたがわ}進^{すすむ}博士（京都大高等研究院・特別教授）がノーベル化学賞を受賞しました。北川博士の受賞は「金属有機構造体（MOF）」という新しい素材を発明し、その可能性を切り開いた功績が認められたためです。

北川博士が開発した「金属有機構造体（MOF）」は、金属と有機物という2つの部品を組み合わせることで、分子のレベルでとても小さくて規則正しい「ジャングルジム」のような構造を人工的につくり出したものです。

このジャングルジムには、ナノメートル（1メートルの10億分の1）という目に見えないくらい小さな穴がたくさん空いています。北川博士の発明のすごい点は、この穴の大きさを自由に変えたり、穴の内側の性質を調整したりする技術を確認したこと。MOFのすごいところは、その性質を利用して、まるで「分子を選別する魔法のふるい」のように、特定の気体だけを選んで吸着させたり、閉じ込めたりすることができます。北川教授が開発したMOFは、さまざまな社会問題の解決に役立つことが期待されています。



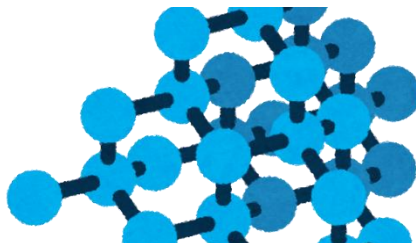
【インタビューを受ける北川博士/Yahoo!ニュースより】

地球温暖化の防止：発電所などから出る二酸化炭素を、MOFの穴に閉じ込めて回収することができます。

安全なエネルギー利用：燃えやすい天然ガスなどをMOFの穴に閉じ込めて、安全に運んだり貯蔵したりできるようになります。

有害物質の除去：水や空気中の有害な物質だけを効率的に取り除くことができます。

新しい薬の開発：病気の治療に必要な分子だけを運ぶ、特殊なカプセルのような役割も期待されています。



会見で、子どもたちへのメッセージを求められた北川博士は、次のように語りました。

『「幸運は準備された心に宿る」という名言が残っています。何かというと、私の流れを見たときに、いい先生に恵まれて、いい友達に、そして学会でいろんな付き合い……。ある日突然、宝くじを引いたから当たるもんじゃない。だからみなさん方、自分の育っていく過程でいろんな経験するんですけど、それをより大切にして、将来花開く可能性はある』

さらに北川博士は「①自分の感性を信じること、②チャレンジすること、③興味の3つが融合して、私自身の方向性を支えた」とも話しました。

ノーベル賞を受賞するような偉大な研究者も、最初は生徒のみなさんと同じように、目の前の「なぜ？」を大切にしていました。この3つのことを意識して、毎日の生活や勉強、部活動に取り組んでいきましょう！北川博士、おめでとうございます！

ノーベル賞とは：「人類に大きな貢献をした人」に贈られる世界で最も権威のある賞です。ダイナマイトを発明したスウェーデンの科学者、アルフレッド・ノーベルの遺言によって設立されました。ノーベルが莫大な遺産を「人類の未来のために役立ててほしい」と寄付したことから、1901年に始まりました。ノーベル賞は、物理学賞、化学賞、生理学・医学賞、文学賞、平和賞の5つの分野で毎年発表されます。